

キラリ女子発掘プロジェクト事業【秋田県湯沢市】

地域の実情と課題

【地域の実情】 当市の産業別就業者数は、製造・建設等の第2次産業、小売りやサービス業といった第3次産業就業者数が全体の87%となっており、製造業やサービス業といった働く時間や場所に制約がある中で、家事・育児等を担っている女性が多い。

【課題】 当市の女性のワーク・ライフ・バランスは、家庭生活への比重が大きくなっており、職場で活躍したいという女性はその個性と能力を十分に発揮できる環境が整っているとは言えない状況にある。

事業の特徴

○自身にあったお手本を参考にすることで活躍に対する不安を払拭することを目的に、地域で活躍する身近で多様なロールモデル女性を紹介する冊子を作成。

○冊子をツールとし女性のワーク・ライフ・バランスを考える座談会を開催。

○女性特有の心身の変化を捉えた心構えを学び、主体的に自身の健康と労働に対し行動し考えるためのフォーラムを開催。

○企業のワーク・ライフ・バランスの促進をめざしイクボスハンドブックを作成。

事業の効果

【ゆざわKIRARI女子発掘冊子の制作及びお披露目座談会開催】

冊子を通して他業種の方の活躍や考えを知ることができ励みになった、仕事に特化せず、その人の考え方、人生観も見られて参考になった、など冊子を読んだことで意識の変化や新たな気づきを得ることができたという意見が座談会参加者などから多くあり、女性の不安を払拭し活躍に対する具体的なイメージを持てるよう支援することができた。

【平成32年度までの中長期目標】

事業所等の管理職に占める女性の割合を30%とする。 >21.6%(H29)
→23.4%(H30)

目的・目標

【目的】 女性が抱える活躍に対する不安を払拭し、その個性と能力を十分に発揮できるよう支援する。

【目標】

>事業所等の管理職に占める女性の割合を30%とする。

21.6%(H29)→30%(H32)

>管理職を希望する女性の割合を20%とする。

13%(H29)→20%(H32)

連携団体

- ①経済団体：事業の周知・広報協力、各種事業への参加
- ②地方公共団体：広域圏への事業周知と各種事業への参加
- ③金融機関：各種事業への参加
- ④市内企業：冊子モデル推薦、座談会へのゲスト派遣等
- ⑤福祉団体：冊子モデル推薦、座談会へのゲスト派遣等
- ⑥医療機関：冊子モデル推薦、座談会へのゲスト派遣
- ⑦市内女性活動団体：フォーラムへの出店及びプレゼンター参加等
- ⑧市内高校：高校生による生け花パフォーマンス披露(フォーラム交流会)
- ⑨あきたF・F推進員：事業の周知・広報協力、各種事業への参加

今後の課題

女性の活躍を推進するためには、企業経営者や男性管理職、若者などのより多様な職種・年齢層の事業参加を促し女性の活躍を支援してもらう必要である。いかにして参加者の多様性を確保するかが課題である。

事業の概要

1 ゆざわKIRARI女子発掘冊子の制作

■ゆざわKirari女子発掘Book

発行部数：1,000部

配布先：市内企業、広域圏内カフェ及び美容室、女子高校生、女性活躍推進フォーラム参加者、企業博覧会及び移住フェア等



地域で活躍中の5名の女性を紹介！

2 お披露目座談会の開催

■ゆざわKirari座談会 ～キャリア&ライフ私らしい両立を考える～

開催日：平成30年10月16日(火) 場所：湯沢グランドホテル

講師：マックスバリュ東北株式会社 環境・社会貢献部長 山本 まゆみさん

ゲスト：冊子掲載モデル女性3名



参加者26人

3 女性活躍推進フォーラムの開催

■～キラリ☆フォーラム2018～

開催日：平成30年11月22日(木) 場所：湯沢グランドホテル

参加者72人
(男性3人)

第1部：基調講演

演題：「働く女性×健康～女性の幸せな働き方～」

講師：国際ナショナル・メディカル・クロッシング・オフィス院長 堂園 涼子さん

第2部：ワークショップ

演題：「心と身体と向き合う時間」

講師：健康運動実践指導者 前田 恵さん

第3部：参加者交流会

企画：湯沢翔北高校華道部による生け花パフォーマンス

参加者：37人(うち男性 - 人)



5 イクボスハンドブックの作成



■イクボスハンドブック

発行部数：1,000部

配布先：イクボス応援団加入事業所及び連携先事業所

目的：市内事業所の経営者・管理職に「イクボス」について分かりやすく伝えWLBの促進を図る

4 女性活躍推進アンケートの実施

■事業所向けアンケートから

ワーク・ライフ・バランスの推進につながる取り組みをしていますか

